

横浜港におけるヒアリの確認について

千葉県千葉市内でコンテナ内の貨物から見つかったアリが10月19日（月）にアカカミアリと確認されたことに伴い、当該コンテナが陸揚げされた南本牧ふ頭のコンテナヤードの調査を10月20日（火）に実施し、ヒアリ類と疑わしいアリ（1個体）を発見しました。当該アリについて、環境省が依頼した専門家による種の同定の結果、本日（10月23日）特定外来生物であるヒアリと確認されました。

確認地点周辺には、殺虫餌（ベイト剤）を設置しています。

引き続き、環境省等と協力して、ヒアリが確認された地点を中心に調査及び防除を実施していきます。

なお、当該アリが確認された場所は、コンテナヤード内であり、一般の方が立ち入ることができないエリアです。また、本件に関して人的被害はありません。

1 経緯

- 10/16 横浜港で陸揚げされ、陸送で東京港を經由して、千葉市の物流倉庫に運ばれた貨物の開梱時にヒアリ類と疑わしいアリを発見したと、事業者から千葉県生物多様性センターへ通報があり、同センターから環境省関東地方環境事務所へ連絡。環境省が横浜市に対し、本件を連絡。
- 10/19 10/16に千葉市内で発見されたアリについて、環境省が依頼した専門家がアカカミアリであることを確認（同日 千葉県及び千葉市報道発表）。
- 10/20 当該コンテナが陸揚げされた南本牧ふ頭のコンテナヤードの詳細な場所が判明したため、該当箇所周辺を横浜市職員が調査し、ヒアリ類と疑わしいアリ（1個体）を発見。発見場所周辺に殺虫餌（ベイト剤）を設置。
- 10/21 横浜市から環境省関東地方環境事務所へ通報。
横浜市から地元関係団体、関係事業者等に注意喚起。
横浜市職員が10/20の発見場所周辺を再調査（ヒアリ類と疑わしいアリの新たな発見はなし）。
- 10/22 環境省関東地方環境事務所が専門家に同定を依頼。
- 10/23 10/20に発見されたヒアリ類と疑わしいアリについて、環境省が依頼した専門家がヒアリであることを確認。
横浜市から地元関係団体、関係事業者等に改めて注意喚起。

2 今回確認されたアリについて

横浜港南本牧ふ頭で確認されたアリは、ヒアリの働きアリ1個体です。

3 今後の対応

横浜市は引き続き、環境省等と協力して、ヒアリが確認された地点を中心に調査及び防除を実施していきます。

4 事業者の皆様へ

(1) 注意点について

- ・ヒアリを刺激すると刺される場合があります。
- ・ヒアリと疑われるような個体や巣を見つけた際は、刺激（アリを踏もうとしたり、巣を壊したり等）しないでください。

(2) 刺されたときの対応について

- ・まずは安静（20～30分程度）にし、容体が急激に変化することがあれば、最寄りの病院を受診してください。
- ・受診の際は、「アリに刺されたこと」「アナフィラキシー（重度のアレルギー反応）の可能性が有ること」を伝えてください。

(図) 今回ヒアリが発見された場所



(写真) 今回確認されたヒアリ

(横浜市環境科学研究所撮影)



お問合せ先			
(特定外来生物一般に関する事)	環境創造局政策課環境プロモーション担当課長	池谷 庸子	Tel 045-671-3830
(ヒアリ等の簡易判断に関する事)	環境創造局環境科学研究所長	百瀬 英雄	Tel 045-453-2550
(港湾施設における対応に関する事)	港湾局管財第一課長	鈴木 康弘	Tel 045-671-7179